



医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

特集:

リハビリテーション部
富岡技師長 ……1

医療法改正

—紹介率—
……2

退院支援

出前講座
……3

医療連携・相談室

からのお知らせ
……4

地域連携パスにおけるリハビリテーション部の関わり リハビリテーション部技師長 富岡 秀則



日頃より、リハビリテーション部の業務に、ご理解とご支援を賜り、皆様方に深く感謝申し上げます。

当部では、「心かよう信頼と安心の病院」の理念の下、急性発症・術直後からリハビリテーションを提供しております。現在、理学療法士7名・作業療法士4名・言語聴覚士3名の14名の療法士で対応しております。

さて、当部では、平成21年に大腿骨頸部骨折連携パスの実施に向け、林副院長先生のご指導を頂きながら、整形外科医師・8西病棟看護師と検討を重ね体制づくりを準備してきました。

平成22年1月、公立置賜長井病院・公立置賜南陽病院と試行開始、同年4月に白鷹町立病院・小国町立病院・公立高島病院が参加して、連携パスを紙運用で実施しました。平成23年7月から、三友堂リハビリテーションセンターが参加しました。

さらに、平成25年度より、計画管理病院として、米沢市立病院・三友堂病院、連携先として、舟山病院が参加して、OKI-netを媒体とした、電子パスで、新たな連携システムを導入して、実施となりました。

また、平成23年度から脳卒中連携パスを、金城副院長先生にご指導頂きながら、脳神経外科医師・8東病棟看護師と検討を重ね、平成24年4月に、OKI-netを媒体として電子パスで試行し、同年7月より、連携先の病院として、三友堂リハビリテーションセンター・公立置賜長井病院・公立置賜南陽病院・白鷹町立病院・小国町

立病院・公立高島病院と運用開始になりました。

現在、両パスとも、細かな修正はありますが、順調に運用しております。これも、医師・看護師・コメディカル・事務方等と横の連携を密にししながら、また、連携先の病院職員との情報共有、そして、顔の見える関係づくりを構築した、皆様方のおかげかと存じます。

これからも、リハビリテーション部では、地域連携パスが、スムーズに繋がるように、取り組んでまいります。今後とも宜しくお願い致します。

医療法改正 - 紹介率 -

いつも当院の運用にご協力いただき、感謝申し上げます。
 皆さまからのお力添えを賜わり、当院は地域医療支援病院を掲げさせていただいておりますこと、重ねて御礼申し上げます。
 医療法の改正により、連携に係る評価(紹介率の考え方)が下記のとおり変わりましたのでご報告いたします。

【紹介率計算式の変更】

(旧) 紹介率 = $\frac{\text{紹介状持参初診患者数} + \text{救急受診入院者数}}{\text{初診患者数} - \text{休日・夜間の初診患者数}}$

(新) 紹介率 = $\frac{\text{紹介状持参初診患者数}}{\text{初診患者数} - (\text{休日・夜間の初診患者数} + \text{救急車搬送者数} \times \text{重複})}$

※休日・夜間の救急車搬送による初診患者数



今回の医療法改正における大きな変化は、地域医療を支援する機関の条件である救命救急に係る評価と、紹介による医療機能分化の評価を明確に分けたことです。

公立置賜総合病院救命救急センターにおきましては、長井市西置賜郡医師会並びに南陽市東置賜郡医師会の皆様より、平日夜間の協働診療をはじめとした様々なご助力を賜わりながら、置賜二次医療圏における24時間救急救命体制を維持しております。

しかしながら、一次・二次救急患者の割合は92~93%と高水準であり、今回の医療法改正における変化によって特に日中ウォークインの救急患者さんや紹介状持参への理解・啓発が課題となっております。

このような状況を受けまして、以下の事項を行っております。

- ①救命救急外来での、かかりつけ医の有無の確認や診療情報取り寄せの承諾確認
- ②かかりつけ医の受診のご案内や、紹介状持参のポスター掲示

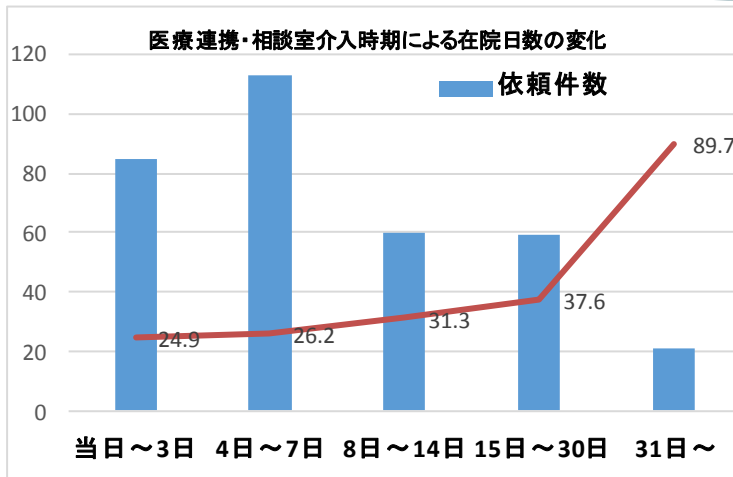
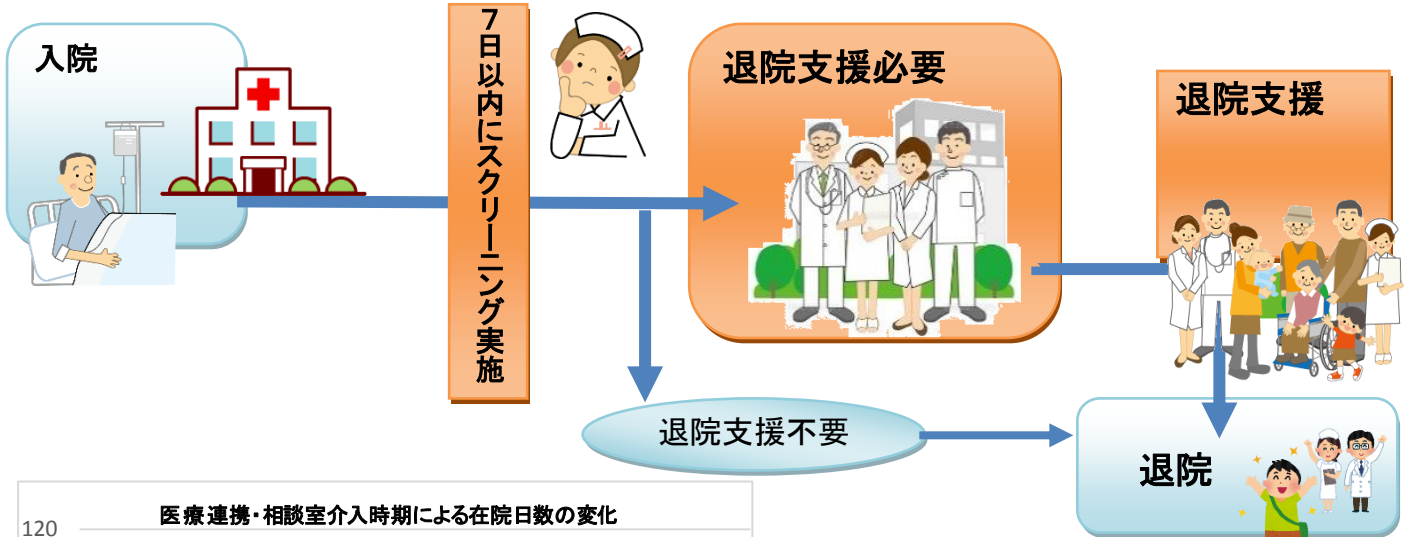
置賜の医療を守るべく、連携を強化して今後も取り組みを行ってまいりますので、

ご理解とご協力をお願いいたします

3 退院支援 出前講座

公立置賜総合病院での退院支援の取り組み

公立置賜総合病院では、入院治療が必要な患者さんが退院後も住み慣れた地域で、自分らしい生活が送れるように、入院中から病棟・退院支援調整部門担当者（社会福祉士・退院支援看護師）がチームとなり、退院後の生活を見据えた支援・調整・指導をさせていただいております。



退院患者内訳(6月)

自宅	死亡	転院	施設
82.4%	5.0%	8.4%	4.3%

◎公立置賜総合病院からのお知らせ
在宅療養支援、退院支援担当の社会福祉士・看護師がおりますので、外来・入院を問わず在宅医療に関する相談をさせていただきます。医療連携・相談室で窓口となりますので、ぜひご利用下さい。

出前講座

地域へ病院スタッフが出向いての出前講座を行っております。医療機関、施設職員の研修にお役立ていただき、各施設との連携を深めていきたいと考えております。特に**転倒・転落防止チーム**は、医師、理学療法士、看護師など多職種が出向いて、それぞれの立場から転倒・転落予防対策の研修をさせていただきます。ぜひご利用ください。

(申し込みは医療連携・相談室へ)



H25年7月	急変時における対応	救急看護認定看護師
10月	糖尿病を持つ利用者の理解	糖尿病看護認定看護師
10月	緩和ケアについて	緩和ケア認定看護師
11月	高齢者介護における転倒防止	転倒・転落防止チーム
11月	事故発生時対応と再発防止	救急看護認定看護師
12月	急変時の対応と看取りの経過	救急看護認定看護師
H26年5月	急変時における対応	救急看護認定看護師
5月	小児看護の基礎	救急看護認定看護師

公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL:
0238-46-5000

予約センターTEL:
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

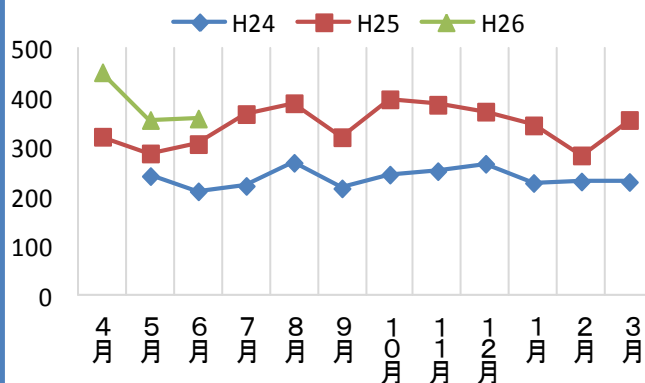
置賜広域病院組合
公立置賜総合病院
www.okitama-hp.or.jp

相談対応の体制と相談件数の推移

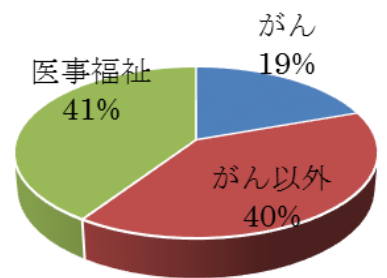
がん診療連携拠点病院、そして患者サポート体制を取得していることから、相談窓口で専門職が常駐して相談対応を行っております。専門職は医療連携・相談室、看護部が担っております。また、各部署から相談部門へ依頼されたり、相談部門から各部署・多職種に相談・連携をはかりながら対応しております。

種別	内容	窓口	職種
一般相談	受診科相談 窓口 各種相談 在宅療養に関する事 入退院に関する等	・各部署対応 ・相談窓口 (患者サポート体制) ・医療連携・相談室	各部門 多職種 退院調整看護師・社会 福祉士
がん相談	情報提供 告知後対応 セカンドオピニオン 緩和ケア、他	・各部署対応 ・がん相談支援センター ・緩和ケアチーム ・医療連携・相談室	がん相談員 緩和ケア、がん化学 療法認定看護師 多職種対応
福祉相談	福祉サービス	・相談窓口 ・医療連携・相談室	社会福祉士 精神保健福祉士
医事関連	医療費 高額医療等	・相談窓口 ・入院案内コーナー ・医事受付	医事課
意見・苦情	医療、病院施設全般	・各部署対応 ・ご意見箱 ・相談窓口	各部門 医事課、総務課
医療事故 関連	インシデントに関する 事項	・各部署 ・相談窓口 ・医療安全部	医療安全部

相談窓口対応件数



H25年 相談支援件数割合



NEWS

置賜二次医療圏の医療情報を一元化する試みとして『ポータルサイト』をリリース予定です。完成の際はお知らせしますので、一度のぞいてみてください。きっと有用な情報が見つかります。

置賜地域医療情報
ネットワーク協議会

あとがき



7月に入り、置賜地方は昨年度に続き大雨、水害に見舞われました。皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。「雨降って地固まる」まで時間はかかると思いますが、手を取りあって乗り越えていきましょう。
“地域連携、という大輪の花が咲くことを祈念して。”